

	胁	[t]	+	K	百			荐		日四	+)	月八	年-	十正							月			鯏		÷	->	钥		بسي	F	1-		七四		學		(1	可認	物便	都不		3)		(=)	···	-
「シュー中 図 人 野 変	3	原紀、列場側路に置切化省支引引力を引出せるの説明と、場を等いせ対別北自治軍の民早代 休戦運動さ起州での兩湖に休戦者期後の路以長漢川民派遣しの な作者、李曹城、夏平寅氏等者招請を	커 양 디	友	不電)	叉氏에 席		黄	中國政府		獨立 全 言計	2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	「日中(経育館)	· · ·	で見忽	が開発を	シカ帝氏閣織	「日子・「日」	の合併別で立僅可十一分一層波蘭の残留別で라と及り中立云をとれる中の合併別で立座す十一分一層波蘭の残留別で라と及り中立云を	提議与批評での日英國提議に波崗投票者の十一分九号獨逸領内」上部と当己人の「専門委員會の佛像西委員」可引入の「氏亡英國の「賜」	「台川の問題の関すら	評論	師でヨロエ通告を父母母(巴里電)	社通信員으英國首相「29三年ーオ2」氏=八月十四日 倫敦河遠(翌前37形勢で比較で中四圍31狀况은 非常可良好でガ되りユ「早中」(政	般可能測金鐵。今京高章議亡有望を狀態下可開催习中一週間間	最商會議順調乎	確する民信認を中日(倫敦電)	引立案でユ愛蘭や英蘭で對す作願税の障壁を築みやりる事員提「節」「資機が任る事員提議で立外國間の條約」と全英帝國の分此書取「正	コ又首相三大戰의結果되三年金の就を야도 愛願の按分比例三男 第1並帝國正規軍의徴兵の關を야三特司便宜臺計圖を申提가有 を父 オー	別の就すらこの防止此島英本世の管理、内ででは、文明を開発して、「東京工の防止此島英本世の管理、内ででは、文明を持つ、現代を持ち、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、	プラミンが部では、日本のでは、アガルでは、アガルでは、アガルでは、日本のでは、日本のでは、アガルでは、アルでは、アガルでは、アガルでは、アガルでは、アガルでは、アガルでは、アガルでは、アガルでは、アガル	ルを引くです。11年1日 1日 1	議條件	9年3. 歲人減額 5. 政策解析的 6.	湖では下院共和黨首領叫妥協	米稅率改正妥協引	不	計上交易資金。 開催の数	百五十萬弗計上号	→		後子	经	特状。多加各国	式請待交付	不并會議의開會期々不	
一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般 一般			В	动动二等授旭日重光章陽一時命前逃信局長官 持地大三郎	前度支部長官 一鈴木 稳		各	前鐵道部長 人見二郎 廣務部長 育木 戒三	ص	鐵道部技師 新田留次郎 前継殺局長 荻田 悅 藏		7 年 2 9 5 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	记 中金大百副 西市 保 吉		一千五百圓 一千五百圓	· 一	單賜	前成鏡北道知事。上林敬欢郎《一世金六百典《名通》	「「はのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	京教道印事	前黄海道知事中,陈熙熙一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	級勵三等授旭日中授章賜一時金 遞信局技師 岡本桂次郎	動三等授旭日中經章 警 液局長 赤油 濃	以 別一等授旭日大授章 別一等授旭日大授章	後の名と見なり、大手をはない。	朝鮮總賢男爵 一次 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	東原の開保分子者と左外如う計検査院等が亘りのストの開か	剛七内閣内外務州省貴衆内院附立多十二日衆表記以この其	7、第二回文官行賞ご昨年十一月八八、水十五日頃の豆分寮表書記の写	文官行賞發表	司母母(東京電)	以川里川州で中部議會を了から、三省三路議會を開催って田備制	二一全的 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	世結果の中国の阿川が入り、東京電)	では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	開収離明年度豫第2歳出線額一 開収離明年度豫第2歳出線額一	關東廳明豫算	後定で立明年度豫第○計上で	如計税が監督局を投置でき立大な明鮮總督府で財政獨立의形式2日	總督府聯	日本部所で本語の大学行り回った	日本兴海	兵交渉を開始での判址対其準備3	指上プタル	は以うられる	東京でも10年20ヶ年度10年度 一個人以入機を禁止さ時代が核外 東京では19年度によっては)	
21一人の立ていている。19年20日本学の一人の立ていている。19年20日本学会の一学のでは、19年2日、	「見中。此州特を小見攻府四委員の中央主張者強硬で八支持でユツを入るを持て、	であたる。当年の十七年に日に日に日に、一年の日に、日に、日に、日に、日に、日に、日に、日に、日に、日に、日に、日に、日に、日	平「小子早」と自己が埃及國民	分の海司猛烈でプロの头は8元	5 依ちの反英熱の益々熾烈の州	、このは強硬を提購者提出でユモ運動会試	崇拜でログモー般域民の此の對		으로成立日次9日其中에モ獨立	大臣中兄中前大臣の号司科司、大臣中兄中前大臣の号司科司、	日三状態の以中。右大名の首相	法五月の政府의任命を六名의委員を外列英國門向を作出を大名의委	一、依然可顧論の依一の最不見な牧子一選の就でい英甚を粉擾の数を立	埃及國内の外に右代表委員の任	着き待さロット」の同會議の報	文守三十八帝皇司七長長妻四川氏ノ今月初5『今也政府亡埃及	武富时の只合のデミの三、本の八	· 光帝國會議 と共會期中埃及問題 ・ 1 名 3 4 女 何	坊 及 發 立 問 起	定と同じ目首	三十一日照益血三逝去で8人口日子十一日照益血三逝去で8人口日	政尾公使逝去	则乃至百三十圓金賜。 少时中	九名 5 對をゆと一時金 9 三四百一向且關東廳 5 務官工藤壯平外十	叙動六等授職資章(各通)	旅順民政署は 四 山 茂	汉助大李受罪化坦一致(各重)外三名	登場警務署長 石橋 正光· 叙勳五等授雙光旭日章(各通)	長春警務署長 橋本 清 慣 叙謝四等授加日小授章	· 奉天警務署長 官 起 正 良 叙勳 : 等授瑞賓章	前大連民政署長 大內丑之助千五百國	叙勳三等授旭日中授章賜一時金 前通信管母居長 加藤順次郎	叙動 一等 授權資章賜一時金 二千	宮崎縣知下 杉山四五郎 百四	叙勳三等搜噶賈章賜一時金千八一鈴木 三郎	明·公杯一組 網·火雕技官 山脈伊三郎	新湖溪河分 (各灣) 以上朝	7.50 安中田中(東京電)	破留局の旅界を持ちず、乾燥を力を重要財政部を分離では日本以	獨立乎	(東京部) (東京地) (東京地)	耳言畫	条件了で気は前田(東京電)	当相が	医・出れる	3 短惑を行う 光林、間に用者3-	
近件。5明治四十四年法律第三十號 中。明治四十四年法律第三十號 中左記改正	川岩と事實の母を中。	といる其結局의目的5分稍速で 共目的全選至対を外日の一時的 の場合者利用での暴力な豆	意味なる。 京都なる。 京都なる。 京都なる。 京都なる。 京都なる。 京都がなの今日の形物	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	「宮間逸去を思りの口『ハイラ」	で立役での関節の統一会背景ので立役での関節の統一会背景の	の三被小委員の日の堂々司倫敦 1000年の日の堂を司倫敦	19年1月、大学を入口まます。以上学の英國のの論の立境及殿内の一旦大人殿内の一旦大人殿内の一旦大人殿内の一旦大人殿内の一旦大人殿内の一旦大人の一旦大人の一旦大人の一旦大人の一旦大人の一旦大人の一旦大人の	三十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四十四	波非安協的 極端間か給 可避利と 外思想音排放む原因と、主きな	題以來呈對英反感等激成で立排電派を次の事實の呈到、委員問	◎民のプ向すの極力の三將來着 ◎ 衷心の三遂像の旨着磨財で立	と今次の京歴山港の暴動の對す	事り口の勿論「み子」と、いりいき打格者生真の至き次の可悲る	獨立交渉当「主要點のブラ如此」「万寸見情に選択」「指する	気は、	今危険い更増を守つ中工場官を思想の日本のでのか一層悪化るない	ガ不利をガリ何故のよう思排外	「英國の外人を保護すり場合の」と	比州野なりでするで、いりからの撤兵者不許立中」工學書で立	國人保護上の引急可埃及の로早、過日の豆集會の分に「英國の」外	むけ。果然植民大臣からる氏之事 の有む以來豆の今低下回気は	埃及獨立並自治の對き信用と此の一般定可受合け英國並諸外國可	を登りなべいよう いっぱい 原動の というない いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい はいい はい は	ド重は食り上をりだい。 「東京の公司対各の三軍艦者急派で	定でオ吴宮の及さい該政府引請し至今の中。埃及川殿のカラ色観	係者 耶慮で哭といる足可能。 英國政府ン 英埃間의 微妙立期	英國軍隊看不動列をして、如何可以及政府の分割動のの公会はなる。	で、英國統監の引し出 元帥アルの一時と人心。 落々を気口。此	コンは一般など、他港他市の上、及でででは原山港。一大窓は「新る」	かに思想は思うした感象を対象の一句を表現の一句を表現の一句を表現の一句の一句を表現の一句の一句を表現の一句を表現の一句を表現を表現の一句を表現を表現しませば、	の政治をプロスの政治を対して、大学の対象のでは、大学の対象のでは、大学の対象のでは、大学の対象の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	AJR第首に応打には入上。まで4年である。7年では、1年では、1年では、1年では、1年では、1年では、1年では、1年では、1	で観め三十十下川で十十、は「一で観りで対対の人口では及人側」(それを注めて三十九名)	1983年報では後子打工により、1983年報では、1987年で、1987年では、1987年では、1987年では、1987年では、1987年では、1987年によりにより、1987年によりにより、1987年により、1987年により、1987年により、1987年により、1987年により、1987年により、1987年により、1987年により、1987年により、1987年により、1987年により、1987年により、1987年により、1987年によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに	男児祭授教を日教別で有害の好りの作者に対している。 以下 動して 不実際で 子女	展入派司・支列後に1950年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	後、十四名ト及Fでユニューション 激起でタい山土民全大學を可治 は一大学を可治し	を主主で活動人のサー大学研究の自然影響ので、埃及土民中間では、ビジャは大人の	は別数では40元を主体小以前をから、五月廿二日逆原山港の一五月廿二日逆原山港	重大事件勃發 4874	12番以仕様が不満なから、142番以仕様が不満なない。文が開始の反対	を受験の主義を不够ない。 交換を一個経過を行るのでのの	勝さい 三爿引きが中の 長灰埃川 以族判破裂 山共市関節と又復沸	比例如分別政府約斗子集の一派とは任命さの全を対して、	はのないのは、現代の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学を大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	
上でいまり、 一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一	道名叫如司中國部職米人特可財界有力者間の唱	、以れるのは、と発用りの成の一、然能が自守獨立る完丁の金得を	一度足此最期待宮野如安叶然の中の側の開放を主唱を次と常る宮津	等主義の徹底量別で工事直引に調等を懲つの共門戸院が極質性	開きらと米威諸新聞斗所報及論の今時際えどりも日梅東世襲5	如何の一事の日元來詳細を次の米一段 新死の希望ノゴ東北	意言要以及已提案者名	議員東に与交歩で用したかと主入登順子BOK戦争如をプリシックでの話題者「PMがら	だりり、「作業員歌・方文が出版」の設め「写立他方の三字で豫備」	u 最終性目来頭政行司正式阻請 可不遠の終了整告をユー方の中	日開育が若当司答の齊至宮中共の名が諸國の豆早时十一月十一	車備制限會議計劃可關並初安區	至寸雪袋中口叉一	雅・317日日	學校費戶別割賦課額查定可件的	京成付当名巨大正十年度京成府	守平義 当月月	一回調查可事中多少以不精の無	部階級省四十級5分で中に同の見過一十個市量の東モモで中名	ション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一名聖グ留の三労結局日本人機の戦を者	す中鮮人側や総戸公三萬八千戸の第一都分・復収合味を含って記	第一月ナロ牧とか式上さり 塩佐でB(全今不久の大正十年度 であり、一般をお式上される。	在一門を古来し近水川中でで加い、東島を出てい毎月の毎月の毎月の一個月の一個月の一個月の一個月の一個月の一個月の一個月の一個月の一個月の一個	局と既可三個月以前早刊的百名でのお非常も困難、伴で円府常	本年度の創始を事中:賦課の就会を総額の十四萬圓の中如何間で	京城府朝鮮人學校費組合本年度。19月1日東京公司和北京日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	是交货官式果	野川海立者に富然退職の豆真必	プ定年의制度置投すい一定3年石規定3割除をこ同時の判事を	要保持が含い。 連合が とは はは はい はい には には には には には には には には には には	1900年分此最前除表必要가有文明中以地证最不安定判定于1911年	●事量得で一規正の十世規定の一般を開いて、	第二十大條31大三朔靜總督51以(四由)現行朔歸總督府裁判所令一	2) 対対では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	本合施行의際現一体験で引角率	年書前社省長昭の作用機がある。	除31大阻蓄31規 Edb#Hbm且事 関項31機通57在を中を第二十大	でも有己さ	5 在で呼其年齢の適を者と本令で表及本令施行日早时二十日内	二十六条《大神鬼を吐手をを置って十六条《大神鬼をひりのなりのなりのなりのなりのなりのなりのなりのなりのなりのなりのなりのなりのなり	本合道丁斗製製作用に対象で、何で存品を持ち、 観別名を持ち、 「「「・」「・」「・」「・」「・」「・」「・」「・」「・」「・」「・」「・」「・	ドスタリカガミンド・カード、 法院斗総合の決議・依すい五 が 送職当命官位例終總督と高等。	を 有豆年命六十歳 遊を味さい 大十三歳其他と判りの破り在	11附首教の公布での即日早的施。	物での総督行列令の主列來十五郎一級が第二條 依をの動献	
一般の依ちのは北京政策を一派に卒然が勢に、 一派に卒然が勢に、 一次に卒然が勢に、	「放丘炭草斗を変毛」であれている可能にはあり、大田の一般の一般の一般の一般大平以来に					が「態度」が最近の至すの時間、態度量がなりです。												$\omega -$	立金額으로真事 部面五十川名株5 数マの携込 天	3 m	125 1	資本金總額二千萬則是五百萬第二號系 資本金減少当件のコ	取消의件		東京本計の名間・株主總督量開 議会 マスラジスでスターカー		に一見を下を二十二個別を注りた	が飲る弓頃な、ガヨ・・、過日尹・藤正、い鮮・・ 茶郷道株式 当社 モ共後非 ご	產鐵總會a議案	心院村房信	所属味等の点すのと	する別との結果分量の少ないのでは、	央育教手支會	の缺むりか行をいるの場の食味は	随 应将 跟 乘棄主事補	足・変 足劣人 ひそる	動阿山郡產業組合出席	では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	5日本内地米34少異式5住良 900 其水加減火	紫組合中央行出名目	発療的場合一般を決し	7月産泉が行を終された後日野会依頼で	がは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	P. 外 马 树 静 静 音 府 即 三 目 的 으 主 纷 白	洋拓強株式分社京城支店の空早に 市神橋八縣 WC共進149駅 5 東口で春大分縣 108 分開作を見長九	米試味許	
は、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	オメリクラング	兵交喜なとが	氏々れ武力音	不振する且の南方政府の	り は 現在 い に は は は に に に に に に に に に に に に に に に	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	天臣の兵権の行うのよれのな	第一の対象の	間では 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	对是 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	南浜宮井飲代の質請開催より	N官傳 5 努力A北京政府代表著	が言識 5 医勿診	ロ聖書かや司	他で五七大珍田	央基督教青年	隆井活	メート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ひた。中可付ヨモリ豆殖蚕豆の外モ可京畿辺の対身分調本	今殖産局常局コ手の到達与な書と道廳。 対意外の遅滞与な	取市場の新規仲買人の認可由	ラ し、忍切 番談者員設置の体	総代設造의件	一、大正十年度追加豫算更下行。願いや審議のみ、十月み	11年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	仁川府協議會	部の ジョー	受益性父父童4件46時で富川郡大卓面北田村のでは、7番気富川郡大卓面北田	日附呈別京畿道富川郡等于公曹設置認可	の場合は記載できる。	州社為議員でのJETM 大等9出席でい高等警察 「「1998年)	工家 3各形支头下各点第多小松 战北石黑 平北石川全北小松 二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	新務官大卒道蔣則 Q 呈 三千條祭 成友警務 3. 各課 这時永田中赤池 長以山 掌羚管山 口道等	★1分をよれるが、1115年室の夕開管で工警が局側ので見びる検索」の機関形第一の機関形第一の	ドーミス WFF5・18年1日 東京 18年1日 東京	察安協會	外十五日限官報の	則st 總督府訓令으 号從前斗日本人教員與	足二依支呼局部的5府及止所減官署呈議	就一引点 o'作今回答	語列講習は三期を小り日本人教員で展立	紫紫陽の景間 規 廢止	三十分。全通月6	育が小交も小に長い、変数原外巨洲島川に 変数原外巨洲島川に	直接	य प्रश्न	
おり、日本のでは、日本の	中語では関る山質器の中語では関る山質器の中	で北京政府排除の利用を対する	の大間の身でやと排引見記し、一番の内間という	全事實門可政府	※近の帯次発醒而	間で 一番の は できる 一番 では できる 吹き 必要 アカゼロ	1三中國可財政監	が今日の目的コー	劉中借験ら云豆	司對中	童色中型の放射を引 の論り Q又財政可窮	第3 方法을購入せり	人のログス	針ピアをモ	くそ古代規模ニモ事が通信	評論の不少	心事為リロマ	で呼んれ	時の日本	延施る으로	指令も日時	がい野便所でいる現	の遠隔立處	可怪事事實色人便是經	小印郵便物	御いいのでは、	供い後の博	特異立者が	ではる道をは削りないに対する。日の万百歳十日のも一代の前	日から後、日から一手が己一手が足が、大力を発展していると	烈き切印さいなり新聞文の権・ 一覧のでのかっては、一覧のでのかっては、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本で	はない社会になります。日本の社会のでは、日本ので	う選ばない受信人と漢が、の き 製造を持つと前述中が可能	題の分繁急む事故가有さの通	P間号後の至さ日不得已配達 便の有さオリニン多數を書い	可忌放過で父子が其後の幸司の体をブル困難で中と様々忌	育で立時の記録が	で 全観令配	中に いまで いまで いまり いまり	では不能	加いなど	ルを連ばいる。	英関の日間の	と不拘でにはいの	一部で	前方	
等之有公司 11元(第50 ··· ··	· 次 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	及南后爱(引) HO	五日 : 120		三 <u></u>		テルー元〇三元八 及影 抑易 受易	中東巡		보中四十四 蜒高七十九蜒中高端の 医實物の優勢な	十銭九十銭々刈呼價が有一質。當中の一次の五代	一首・マットでもでいる。 留さり	えとboxwoo!人気異節のことのでは、 のというで後場の上板地前と	되り以り氣强可三十五線の漸次下押でゆ三十四綫の	概落の人氣甚竭での五十十五銭ペス臘星で気にし	戦으로始での最高個一十	の成地先高すが二十八副(强)硬)	八月十二日後場	期米	1	大五九	(七節) (五四	五六	、 大 三 三 三	三四、五七	三三10九九九	三一〇九	三日前場	入阪	地切米	14、10	八大、五〇八大、七〇	元件 一五八、五〇 字t	五九七八			十三月前事	東京現株	一四一九〇	之 100 大 100 K 100	三九二〇〇三九一四〇〇〇三九二〇〇一三九二〇〇一三九〇〇〇	一大七、九〇一大七、四〇一大七、九〇一大七、九〇一大七、四〇	十三日前聖	以 校 式	朱式		1
「「田野」」 こうじょう 現の間屋 一川東川 こうじょう	2 ::	1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1 元 1	が、一気・一気・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	新 ilu :100 ··· ··	()	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(月)	名 前頭 发易 前易 发引	五錢鱼牙昂上四万七十錢水	買い七十銭の豆豆種です更可上で落ち気可し低勢のとの日本	六十四銭5始で6六十銭2三八四第三節(當中04不成で五先限)	溶のの六十八銭에よで中 一部の上の矢中ガ六十九銭の三一	リ更が買案再燃でい七十四銭	現出した大地の記憶はなり、大変の総の始での日子低勢のと買物。同じ	坂地初附不※の貿氣教での五世第二節 當中の一不成でユ先限 翌	昨止公同僧七十五銭の止さい	大道部で置きる不成ら口も以合	が開発で	孫 恒 秦	いとは、	かり淡	が一	100 人間を見て コイマー・	料配小高の小件便服可比較の人工、一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一個の一	殿の豆反脇でや小で男どり今への買氣旺盛でや一十八圓七十					音比でいるとして一五銭の氣器など			●第五節 當品不成で五中の二 四三年代外ではフセイ八郎の出をし		合仲買店	海岸町	川米豆取引所仲貸人	▽路崎で85日山七十八九湾○ 〒1	既ら早始では七十五銭ら三向 17世紀 19世紀 19世紀 19世紀 19世紀 19世紀 19世紀 19世紀 19	既の一口가有支工先の坂地小」、178	八十四线으로止支叶 作品 現行を外大十銭으로反上す 5.4	八銭々刈低落习外伝가低勢」。1440歳の三年は一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一	を設する。 小成で35年 大ので35年	发 B B B B B B B B B B B B B B B B B B B	日一度 三十十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	皇帝で本七十九四年不成を立先に	
多 多 多	i i	小型 「 五名 五名 五名 三		地域 作 三克 王克	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	學 高 无 元 元 元	明氏 省 140 140 :: ::	保名有遊り次。	[總石数 一萬四千二百石	九月限	Fi By 取 組	eta tata	公定價格		()	十三日後場(電話)	以七十五銭の一口가有で立先の	結局の十四圓の止す五中の三十銭〇八銭の豆漸次下押되日	第二節、當限や十五銭の始を一番日中止で日中先七賢買不成	する。「は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	十三日前均	仁川大豆	石数	九月限・一萬二千二百石	組	五節 二十八圓八十七處 四節 二十八圓八十七處		公定	二十八四八十五		一片(電話)	二十八二六一五二十八二六十八	四節 一千八间六十八章 三年八间六十八章	二十八則六十四	安俊 二十八眞五十餘 受傷 質・各	场资 二十八词七十五路 止價 二十八词大十钱	一方寸・一十八組七十五道・一十大統列北京中	治・ド大トビス番のARTも代表 観望的ユビ見送でプミ六十銭	元限の次に純大を撃る。内方の個の九銭の始での十歳のにで	八節・富と不成では中心一十一次中外大十四銭の出って	《十遺台別左十九道으로下甲」 一頭では坂地小廿3段気不振で	工種河出を立先限50六十四億一三年後で17十四億三十二十四年(プラッカラ)	十十八川〇八近河かさ昨大池八道一版(第五節)は三不成をユ中島一一の村大十八組の次を中	六銭々み低下で矢田山市及関一一時の始を及り七十段台別大	へ、川小住『幾許尚人無收穀 v中七一十五條明一口が存を立先限を抜	からずいないではなることでは、	

स्कू इ

